

東京弁護士会の「同好会制度」

vol.7

有志が集い、 新たな東弁公認同好会を 設立しましょう。



厚生委員会委員長 中島 真紀子 (52期)

会員の皆さんは、東京弁護士会に同好会制度があることをご存じでしょうか。

現在、囲碁、将棋、ゴルフ、宝塚歌劇、オペラ、の5つの同好会が公認同好会として活動しています。公認同好会は、当会の新入会員歓迎会への参加や当会の公設のウェブサイトなどでの案内等が認められており、この間LIBRAで各同好会が連載企画で紹介されました。

当会には「同好会の公認に関する細則」があり、概略、①健全な目的と実体を有する団体であること、②当会会員が20人以上在籍していること、③会則等を具備していること、④代表者が当会会員であること、⑤団体としての活動実績が1年以上あること、⑥当会の品位を損なうものでないこと、の諸条件を満たせば、公認同好会となることができます。

同好会の設立にあたっては、厚生委員会の各委員が積極的に皆さんの相談に応じ、お手伝いをさせていただきます。

今回は、まだ公認手続きを経ていないけれども永年活動してきた団体や、これから設立しようとする団体を紹介します。このほかにも設立の希望があれば、ぜひご連絡ください。



「東京ローヤーズ」

我々東京弁護士野球クラブ（通称・東京ローヤーズ）は、東京三会合同の軟式野球チームです。9期の重鎮から74期の若手までが、毎週土曜日を中心に、全国の弁護士会の野球チームとの間で年に一度日本一を決する日弁連野球決勝大会（今年は福井県開催で、来年は札幌開催です）で優勝することを目標に日々活動しています。

メンバーの球歴は、東京六大学野球や甲子園出場経験のある猛者から、中学軟式野球部止まりの者、全くの未経験者まで様々です。選手の個性も様々で、130km後半の速球を投げ込む若手投手もいれば、変化球を操り打者を手玉にとる80歳のベテラン投手も活躍

しています。柵越え本塁打を放つ長距離砲もいれば、足を活かす者、守備職人、代打の切り札、ムードメーカーなど、各選手の個性を発揮する活躍の場が必ずあります。

この記事を読んで少しでも「野球をやりたい」と思った方、経験の有無を問わず、ご連絡をお待ちしております！



「法曹レールファンクラブへようこそ」

法曹レールファンクラブは、今から30年ほど前に、当時の石田穰一東京高等裁判所長官ほか数名の鉄道好き弁護士が集まって発足した鉄道ファンの同好会です。現在、我々弁護士のほか、裁判官、検察官の鉄道ファン70名ほどの乗客（会員）が集まっています。

乗車企画や見学企画、飲み会では、ライトな会員からディープな会員まで多種多様な法曹三者の鉄道ファンが集まっては鉄道談義に花を咲かせ、年一回発行の会報「法曹レールファン」でそれぞれの鉄道への想いを披露しています。

コロナ禍の折は企画実施もなかなか叶いませんでしたが、昨年11月には新潟県で車両を一両貸し切って創立30周年記念の行事を行いました。

日々飛び交う法律の話の中に、鉄道の話で一服の清涼感を味わいたい方のご参加をお待ちしております。



「ワイン好きの方、集いましょう」

ワインの楽しみは、何ととっても官能を直撃する香りとうまいですが、無限の蘊蓄や、ワイン・エキスパートなどの資格も、理屈を扱い試験が得意な弁護士を魅了します。

フランスのボルドー・ブルゴーニュあたりから出発しても、アルザスや南仏系の個性派は捨てがたく、イタリアやスペインにもそれぞれ熱狂的なファンがいます。カリフォルニア・オーストラリア・ニュージーランドなどの新世界ワインもクオリティが高く、中には非常に高額なカルトワインまであります。さらに、日本のワインも

近年の著しい品質向上のため、侮れません。このように、一度ワインに嵌ると、なかなか抜け出すことはできません。

東弁のワイン好きが集う場として、ワイン同好会の準備をしています。興味のある方は是非おいでください。



「日本酒を飲んで飲み友を増やしませんか」

「蔵人はお酒を醸し、人と人の縁を醸す」。約400年前から東京で酒造りを営む豊島屋酒造株式会社のWebページに掲げられている言葉です。コロナ前に東村山にある酒蔵で開催される豊島屋酒造のお祭を訪れた際、青空の下で日本酒を飲みながら友人と語らう人々の笑顔を見て、ここは酒飲みの天国かと思い、日本酒が人と人をつないで、人々を楽しませる力があることを実感しました。

集まって日本酒を飲めば、楽しい時間を共有でき、仲間ができます。同じ席で杯を重ねれば初めて会う人

とも親しくなることができ、3杯飲んだら飲み友になれます。

日本酒好きが集う場として、日本酒同好会を設立する予定です。美酒をご一緒して、飲み友になりませんか。